

進路だより

発行：平成27年9月3日

1 BATON ～卒業生による進路だより～



～卒業生による進路だより～

NO. 4

前号に引き続き、京大特集です。

◎高橋 若葉 (医学部人間健康科学科)

1. 志望理由

私が京大を目指した一番の理由はおそらく、何かいい出会いがあるのではないかと考えたからです。京大に来る人は教授なども含めて一流の人ばかりなはず、そんな人々と過ごす大学生生活は絶対楽しい！そう思いました。

2. 大学生活4ヵ月を終えて

長い受験生活を終えてからの大学生活は今のところ楽しくてしょうがないです！最初にできた友達は北海道や三重の出身でやはり全国からみんな来ているんだ！と感じました。実際は関西が多いです。

大学の始めは、新歓の嵐。落ち着いてくると、クラコン（クラスのコンパ）やサークルの集まりでずっと忙しいです。忙しすぎて体調をくずしがちです（笑）こうやってやりたいことが出来る生活を過ごすうちに、自分のすべきことも見えてくるのだと思います。

3. Pick Up Topic ～サークル～

京大は大人数な分、サークルの数もすごいです。思いつくスポーツのサークルはほぼあります。そして有名スポーツのサークルには“オンリー”と、インカレのものがあります。オンリーだと、京大の人しか入れず、インカレだと近くの京女、同女、同志社などとともに活動します。京大は男子が圧倒的に多いですが、インカレのものに入って他大の女子と出会うことは可能です。私はオンリーのテニスサークルに所属しています。テニスがたかさんできます。サークルだと、院生さんも活発に活動しています。一回生や二回生だと遊んでる人は多いですが、上回になってくると、実験や実習や研究室が忙しいなどの話を聞きます。先輩たちはなにか将来すごいことをする予感がします！笑

部活とサークルで迷った私ですが、サークルにしたのは最初に述べたような面白い出会いがよりありそうだったからです。これは其々によると思いますが、私の所属しているサークルには個性豊かな人がたくさんいます。部活に比べて施設の充実さなどについては劣っていますが、サークルでは自ら企画して行ったり趣味が同じ人と様々な方法で仲良くなれるところが素晴らしいです。

◎内山 大智 (工学部地球工学科)

1. 志望理由

今から考えてみれば私が京都大学を志望したこれといった強い理由はありません。もともと受験勉強を始めた頃は大阪大学基礎工学部志望であり、その理由は家から近いことと国語の配点が低いからでした。ただ5年の頃に模試の成績がちょっと良かったからと調子によってひとつ志望校を上げました。そのあと志望校を下げなかったのは引くに引けなくなったからとまあなんとかなるだろうという楽観視からでした。

2. 大学生活4ヵ月を終えて

大学生活はじめの一ヶ月は何かとバタバタしてGWあたりまではあまり実感がありませんでしたが、現在三ヶ月が経って正直な感想は、周りから聞いていたよりも大学生もむちゃくちゃ暇というわけではないということです。確かに受験生に比べれば暇ではありますが、とは言っても週休は2日でそこにサークルやバイトとありなにかと忙しい毎日。あとは中学や高校に比べて休講が割りと頻繁に起こります。人によると思いますが、私は週に1コマは必ずと言っていいほど休講になります。また最近、自主休講する人も増えてきました。

3. Pick Up Topic ～基礎科学実験～

大学に入って私が受講している特徴的な授業は、基礎化学実験です。基礎化学実験ではひとりひとりが実験ノートを作成し、実験日までに当日の実験の流れをまとめその一冊を見れば当日の実験ができ、さらには実験データをノートに書くことで後日そのノート一冊あれば実験レポートがかけるものを作成します。また実験はもちろん個人で行います。さらに時間も2コマ続きなので実験時間が約3時間となり、なかなか大変です。とくに予習としての実験ノート作成が疎かなときは実験行程がわからなくなり、教科書をパラパラと開かなければならず、なお疲れます。実験後のレポートはあとからその実験再現できるぐらいに詳細に書く必要があるので時間がかかります。しかし、研究室配属してから確実に必要になる能力なので、今一回生のうちにその経験ができるというのはすばらしい授業だと思います。

